学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	プロダクトデザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プロダクトデザインに関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して学ぶ。既存の製品や生活の中にある身近な問題を調査し、情報を収集したりグループディスカッションをしたりすることで、デザインの考え方や企画・設計についての理解を深める。製品図面の作図方法、イメージスケッチやレンダリングの描き方を学び、スタイロフォームを使った模型製作、プレゼンテーションを行う。

2　学習の到達目標

・自ら課題を発見し、社会や生活とプロダクトデザインとの関わり、形や色彩、素材などの造形要素の働きと構造原理について理解を深め、デザインの可能性を探る姿勢を育てる。
・基礎・基本的な実技実習を行う中で、プロダクトデザインの考え方と手法を学び、意図に応じて独創的・創造的に表現する力を身につける。
・グループワークやプレゼンテーションを通して、自己の考えを広げ発信・提案する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・プロダクトデザインにおける美的な造形性と実用的な機能性について考察し、意図に応じたデザインの企画・設計を理解し実行している。 ・材料の特性や用具の使い方を理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 ・デザインを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・社会や生活とプロダクトデザインとの関わりを考察し、デザインすることの目的や条件を検討しながら計画的に制作を進めている。 ・製作模型やプレゼンテーションの手法を創意工夫し、見る人や使う人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。	・社会や生活とプロダクトデザインの関わりについて関心を持ち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、意欲的な態度を身につけている。 ・問題解決や制作の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	プロダクトデザインの概要	・授業ガイダンス ・プロダクトデザインの意味と目的 ・対象物の研究 「マーケットリサーチ」	a:プロダクトデザインの概要についての知識を身につけ、社会におけるデザインの意義と役割を理解している。 b:身近な製品や生活にある問題を調査・考察し、デザインすることの目的や条件を検討しながら計画的に制作を進めている。 c:デザインについて関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	ワークシート 成果物	観察 グループワーク ワークシート 成果物	観察 グループワーク ワークシート
	図面の表し方	・イメージスケッチ ・レンダリング ・製図の基礎 三面図の考え方と描き方	a:スケッチや製図の知識を身につけ、製図の基礎的なルールを理解し、図に表している。 b: 製図の手法を適切に表し、見る人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。 c:図面について関心を持ち意欲的に取り組んでいる。	成果物 課題作品	観察 成果物 課題作品	観察
2学期	模型制作について	・スタイロフォームの加工技術 ・模型図面の作製 ・アイデア展開について	a:模型制作の加工技術や図面に関する知識を身につけ、意図に応じた企画設計を理解し実行している。 b:模型制作の加工技術を適切に進め、見る人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。 c:模型制作について意欲的に取り組み、制作の過程を振り返って問題を解決し、評価・改善したりしようとしている。	成果物 課題作品	観察 ワークシート 成果物 課題作品	観察 ワークシート
2学期 3学期	制作課題	・テーマに沿ったプロダクトデザインの企画と課題 ・アイデア展開と検討用模型 ・模型図面の作製 ・製品模型の制作 ・塗装	a:プロダクトデザインにおける美的な造形性と実用的な機能性について考察し、テーマに沿った企画設計を理解し実行している。 b:プロダクトデザインの企画・設計を適切に進め、使う人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。 c:テーマ課題について意欲的に取り組み、制作の過程を振り返って問題を解決し、評価・改善したりしようとしている。	ワークシート 成果物 課題作品	観察 グループワーク ワークシート 成果物 課題作品	観察 グループワーク ワークシート
3学期	プレゼンテーション	・プレゼン資料の制作 ・プレゼンテーション	a:プレゼンテーションに関する知識を身につけ、制作過程を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b:プレゼンテーションの手法を創意工夫し、見る人の視点や観点からよりよい表現をめざしている。 c:プレゼンテーションについて意欲的に取り組み、評価・改善したりしようとしている。	発表 成果物 課題作品	観察 ワークシート 発表 成果物 課題作品	観察 ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度